



心地よい5月の風が園庭を駆け抜け、こいのぼりも子どもたちの元気に負けないくらい悠々と泳いでいます。新年度が始まり1カ月が過ぎました。新入園児の子どもたちも保育園生活に慣れ始め、鳴き声が笑い声に変わってきています。特に、0歳児のすみれ組さんや1歳児のたんぽぽ組さんは、保護者の皆さんに代わって昼間ずっと一緒に過ごしている担任に対しても警戒心が薄れ、身も心も委ねることができるようになってきています。すると、次第に保育室にあるおもちゃに目が向くようになり、あっちに行ったりこっちに来たりしながら遊びはじめ、気持ちが落ち着く「居場所」も見つけ出しているようです。また、進級した子どもたちはその自覚に目覚め、「がんばるぞ〜!」というすがうかがえます。ただ、頑張りすぎて体調を崩したり今まで以上にお父さん、お母さんに甘えてきたりします。そのような時はしっかり抱きしめてあげてください。そうすると“心のパワーがグングン”とあがってきます。しているようでしていない“すきすきだっこ”をたくさんしてあげてくださいね。

“どっきどき”の内科健診

4月22日、嘱託医の本間先生による第1回内科健診がありました。すみれ、たんぽぽ、さくら組さんはお昼寝から起きた子から受診をしました。「何かあるのかな?」と思ったすみれ組さんもおなかを出して聴診器をあてられると、何かを思いたしたように泣き出す子もいたり、“むっ”と我慢して本間先生と目を合わせないようにしたり、廊下が騒がしいのでお部屋のドアから「そーっ」と顔を出して、様子をみているさくら組さんもあり、子どもたちにとっては一大行事のようでした。一方、ふじ、ばら組さんになると本間先生



の前に行ったら、緊張した面持ちで「よろしくお願ひします。」、終わったら安堵の顔で「ありがとうございました」と挨拶をしていました。流石です。もも組さんは、恥ずかしさがあったり怖さがあったりと一生懸命に本間先生の前に行っていたようでした。健診の結果、特に気になる症状の子はいませんでした。



もうすぐ、わたしたちよ!

ささやまっこだより

5月の行事予定表

- 8日(土) 園内研究会
- 20日(木) 避難訓練
- 25日(火) 誕生会
- 10、24日…えいごであそぼう(ばら組)
- 17、31日…えいごであそぼう(ふじ組)

◇もも、ふじ、ばら組さんは、5月より制服の上着(トレーナー)の着用は、自由です。気候に合わせて衣服の調整をお願いします。



ぐんぐんおおきくなる たけのこ!

ささやま保育園に小さな竹やぶがあります。毎年そこから たけのこが“によきによき”と顔をだしますが、今年も3本ほど出てきました。それを見つけたばら組さんは、たけのこ観察。まだみんなの身長ぐらいですが、日に日に伸びていくすがわかります。そして、たけのこに興味を持ち出した頃、給食の先生から、たけのこご飯に使うたけのこの皮むきのお手伝いを頼まれました。ザラザラした手触りに何とも言えない匂い。「いつも食べている白いたけのことは、どこなのかな?」と思ったことでしょう。皮むきの作業で、発見したようです。



持ち物が 迷子になっています

子どもたちの**持ち物すべて**に記名をお願いします。

(下着、靴、ハンカチ、ミニタオル等)

迷子になった物は、

☆1階保育室での迷子…玄関入って左手の靴箱の上のかごに入れてあります。一週間経っても持ち主が分からない場合、処分いたしますのでご了承ください。

☆すみれ組、たんぽぽ、さくら組さん…アイロンシールで貼ってあるものは、日にちが経つとはがれやすいので、直接油性ペンでの記名をお願いします。



5月号

令和3年5月1日

篠山保育園 園長 足立善一郎

おたんじょうび おめでとう!



保育園では、毎月誕生日の子どもたちをお祝いする「誕生会」があります。命を授かって元気に過ごせている一年一年をみんながお祝いしてくれます。その月の“ヒーロー、ヒロイン”なのです。そして、もも、ふじ、ばら組さんは誕生カード用に寄せられた家族のからのメッセージを聞きながら、うれしそうな顔を見せてくれます。お父さん、お母さんが大切に育ててくれた想いがひしひしと伝わってきます。誕生会の会場も“ほっこり”した雰囲気になります。また、当日は園長の友だちの『ぼんちゃん』がお祝いに来てくれます。

※小さいクラスの子どもたちは、ぼんちゃんに慣れるまで少し時間がかかりますが、慣れてしまえば「今か今か」と待ってくれるようになります。



『子育てでいちばん大切なこと』より

“よその人にあいさつができません…”

いくら教えてもご近所さんやお友だちのママに「おはよう」と言いません。親切にされても「ありがとう」も言いません。「ありがとうは?」と私が言ってもがんこに口を閉じてしまいます。(4歳の母より)

よその人にあいさつができないなんて、全く心配することはありません。それより、家の中で、家族同士であいさつをしているかな、と考えてみてください。あいさつは家族の間で始まります。「おはよう」とお互いに言葉を交わすのが楽しいから、子どもたちは「おはよう」と言うようになります。「今日はどんな一日になるのかな」とわくわくする朝が好きな子どもは「おはよう」の声も元気いっぱいです。「いただきます」、「ごちそうさま」、「おやすみなさい」と言うと、お母さんやお父さんが「はい、どうぞ、おいしく食べてね」、「ごはんはおいしかった?」、「はいおやすみなさい。今日も一日楽しかったね」と言ってくれるから、うれしくて、あいさつの言葉をたくさん覚えるんですね。子どもはあいさつが楽しいのです。親が「しつけ」を意識するまでもなく、あいさつの習慣は身につけていきます。

『家族の中であいさつができたなら、それだけで素晴らしい』
保育園でも、同じようなかわり方をしていきます。

「子育てでいちばん大切なこと」著:佐々木正美